

大軍拡・大增税ストップ! 消費税減税と賃上げで暮らしに希望を!

松戸市選出県議会議員

日本共産党

みわ よしみ 由美



●プロフィール
1955年 京都市生まれ 立命館大卒
現在 県議5期 健康福祉常任委員

物価高騰とコロナ禍に苦しむ国民生活をよそに、大軍拡と大增税に突き進む岸田政権。日本共産党は戦前、迫害を受けても命がけで戦争に反対し不屈にたたかい、「戦争放棄」を憲法に実らせました。苦しくても力を合わせれば政治を動かしよりよい社会をつくれます。県民の声、キャッチアップで走る県議! みわ由美、頑張ります!

みわ由美事務所 金ケ作 24-1 第5泉ビル 201 ☎ (711) 7282

「戦争と貧乏をなくすのが共産党の仕事だよ」 家賃の取り立てが怖かった...

父が結核に倒れ、貧しさのなか大家さんの家賃とりたてが怖かった子ども時代...「戦争と貧乏をなくすのが共産党の仕事だよ」という父の言葉を原点に育ちました。

ベトナム戦争に胸を痛み、社会変革の道を志し19歳で日本共産党に入党。99年の県議当選以来、県民の苦しみ・願いに寄り添い県内を走っています。



高校生、剣道部のみわ県議

病床減らし・公立病院つぶしストップ!

コロナ禍で命を守った砦(とりで)の公立病院。国の公立病院削減と一体の市立東松戸病院・梨香苑廃止は許せません。最後まで病院存続を求めるとともに、勝手な土地売却を許さず、回復期・慢性期病床の確保、バス路線の存続や避難場所の整備など、地域の皆さんと力を合わせます。



「存続させる会」の皆さんとともに

国いいなりオール与党議会で異議あり

岸田政権の暴走に県議会はダンマリ。自民・公明に立憲千葉民主の会まで一体の「オール与党」議会です。

2022年12月議会 主な意見書・請願への各党の賛否(○/×)	共産	自民	公明	立憲
「反撃能力保有」など大軍拡方針の撤回を求める意見書	○	×	×	×
物価高騰から生活を守るため、消費税引き下げと賃上げを求める意見書	○	×	×	×
学校での教員不足を解消するために正規教員を増やす請願	○	×	×	×

アンケートに寄せられた3つの怒り

1位 統一協会問題 **92.4%**

選挙協力、秘書の派遣から9条改憲の政策協定まで、統一協会と底なし沼の自公政治。松戸でも「維新の会」公認、松戸たかまさ県議と統一協会の接点が報じられるなど、さらなる闇の解明が必要です。

2位 物価高での年金削減 85.4% **3位** 軍事費2倍化 79.1%
ご協力ありがとうございました。

虐待から子ども守れ! 松戸に児童相談所が予算化!

「お父さんから暴力をうけています。先生どうにかできませんか」と訴えた小4女兒が虐待死。

「二度と繰り返すな」と市民と議会内外で運動、とうとう松戸に県立児童相談所を新設する予算がつきました。

市議会からの二度の意見書や県議会での10年越しの質問も力に、一歩も引かず「命と尊厳守れ!」と声を届け続けました。

「ありがとう」メール届く全県立学校に無償の生理用品

「生理用品が買えず靴下で代用」「外出しない」などアンケートの結果は衝撃的でした。

厚い壁を破ろうと、まず市内の県西部防災センターの防災備蓄倉庫を市民とチェック。「ほら、使える」と県に認めさせたことが始まりです。

県にしっかり予算化させ、全公共施設で実施させます。ジェンダー平等は世界の流れです。



「ほら、使える!」

「議員を減らして税金節約」では県民の声は届きづらくなります。千葉県議会では県民人口あたりの議員数は少なく、全国で下から6番目。はたらく議員をもっと議会へ!

国民に寄り添い101年の党、確かな議員を再び県議会へ!



松戸市議会議員
山口正子

みわ県議は地元にも千葉県にもなくてはならない「宝の議席」です。

おかしいことにはき然と立ち向かい、要望も困りごととも声を受け止め、解決目指して県内各地をエネルギーに奔走するみわ県議に、多くの人が励まされています。

豊かな感性に驚きながら私は 14 年近くみわ県議に学び、今後も地元の要望実現にみわ県議はなくてはならない政治家です。



みわ
由美
よしみ

松戸市議の地元から県議再選に全力!

2011年～放射能汚染から子どもたちを守れ

「私、ガンになりたくないの」と放射線測定器を放さない女の子。

みわ県議はのべ 3000 人の市民と公園 3000 カ所を測定し、公共施設や家庭の「除染」実施に道を開きました。



新松戸イオン前交差点のスクランブル化



この交差点はとても人通りが多く歩車分離では斜め横断が絶えませんでした。みわ県議と署名を集めて2015年にスクランブル化が実現、さらに高齢者や幼児連れ歩行者のため、時間延長も要請し前進しました。

命守れと馬橋弁天歩道橋下(2014年)・

千駄堀口交差点(2023年)に信号機設置!

「歩道橋ではベビーカーや高齢者は上れません…」危険な国道を横切って死亡事故が多発する馬橋弁天歩道橋下。

「他はやってくれない、共産党ならきっとやってくれる」との声が届きました。町会と一緒に「会」を立ち上げ、交通量調査や署名に取り組み、県に要望。危険な国道6号の馬橋弁天歩道橋下に信号機と横断歩道設置が実現しました。

この信号機の下をコミュニティバスも通過しています。



「会」の皆さんと現地調査・要望

市立総合医療センターに向かうバスが通る千駄堀口交差点。「事故が起きてからでは遅い」との声を受け8年前、みわ県議と信号機設置の運動を開始。

議会質問や署名活動を続け2023年3月、ついに信号機設置が実現しました。「安心して渡れる」「落ち着いて運転できる」と喜ばれています。



コミュニティバス第1号に尽力、次こそ八ヶ崎に

「八ヶ崎にバスを走らせてください」との要望をうけ、すぐのみわ県議と一緒に世話人会を立ち上げました。2015年には市に先駆けて町会や地元の方とアンケート3000枚を回収、消極的だった市長に繰り返し要請しました。

その後、中和倉コースに『ゆめいろバス』が運行開始。交通不便な八ヶ崎・三ヶ月になんとしてもコミュニティバスを走らせようと、現在地域組織がつくられ、バスのルート案を市に提出中です。



さらなる取り組みに奮闘中!

馬橋駅東口、駅前広場と県道拡幅でバス乗り入れを

馬橋駅東口の駅前広場は狭くて路線バスもコミバスも入れないため、遠く離れたバス停まで歩かなければなりません。駅の東口に接続する道路も狭くて歩道もなく危険な状況です。

バスが乗り入れできるようにと、地元町会など駅を利用する住民の半世紀に及ぶ切実な願いです。県の土木事務所や松戸市の担当課に一刻も早くと繰り返し要望しています。

横須賀小学校の通学路、横断歩道の設置を

横須賀小学校の通学路となっている県立小金高校の南西側の道路は、歩道がなく狭い道路で車も通行しています。この道路の角にはこども園も隣接し、送迎、登下校や通勤、日常生活でも多くの利用者がいます。

県立高校の用地を一部活用して歩道を確保するとともに、角に横断歩道を設置して、「通学路、生活道路の安全確保を」と署名を集めて要望しています。



【県議会報告】2023年3月号

発行：日本共産党松戸・鎌ヶ谷地区委員会

〒270-2252 松戸市千駄堀 1810-2 ☎ 047(349)1544

※日本共産党の活動と見解をご紹介します。